



3Dフィギュアで思い出を形に カープ女子バージョンも登場

セクトコンサルタント

建設コンサル(有)セクトコンサルタント(安佐南区祇園三丁目二一〇、須澤秀昇社長)が、マリーナホップ(西区観音新町四一四)内で運営する3DプリントショップPRE・DE・STU(リデスタ)は、先月から3Dプリントフィギュアに「カープユニフォーム女子バージョン」を追加、販売開始した。3Dスキナーで顔をスキャンニングし五秒で撮影が完了、3D



プリンターを使ってカープのユニフォームを着た自分のフィギュアが作れるサービス。プリントされたフィギュアは、約二週間後に自宅に郵送される。この他、愛犬を写真から立体化する「ペット愛フィギュア」、子供が描いた絵を形にする「おえかきフィギュア」など、来店者の要望に応じて商品のレパートリーを増やしている。ショップマネージャーの中山慎一郎氏「写真」は「お客様の『欲しい』を形にするのがリデスタの役割。卒業や入学、結

婚や出産、七五三や成人式など、大切な思い出を立体で残してみませんか」と話している。

建築物は街の財産 県建築士会がラフォーラム開催

広島県建築士会(中区千田町三丁目七―四七、元廣清志会長)は先月、「建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム」を開催した。



二年毎に開催されており、今回が五回目。開会にあたって元廣会長「写

真IIは、「建築物は街の財産。社会構造は変化し続けるが、時代にあった形や方法で、まちづくりに貢献したい。」と述べた。

県内六支部と、同会が助成している三団体によるまちづくり活動発表の他、女性部会による特別報告会「東日本大震災被災地 宮城県視察」があった。

みんなで考える土砂災害 技術士会&建コン協会

(公社) 日本技術士会中国本部(中区鉄砲町一―二〇、大田一夫本部長)と(一社)建設コンサルタント協会中国支部(中区八丁堀一―八、小田秀樹支部長)は先月、防災講演会「みんなで考える土砂災害―被災地の砂防計画―」を共同開催した。大田本部長「写真IIは、



「広島土砂災害における大惨事の要因の一つとして、土石流を防ぐ砂防ダム等が整備されていないかった事もあげられる。今回の講演会は、ハード対策の調査・計画・設計に携わる建設コンサルタント技術者・技術士の資質向上を目的に企画した」と話した。

中国地方整備局河川部土砂防災対策分析官・川本洋次郎氏による基調講演のほか、最新砂防技術の話題提供や防災委員会の活動報告があった。